

# 令和7年度「学校評価計画」(徳島県立城南高等学校)

評価・評定の基準 A : 十分達成できた B : 概ね達成できた C : 達成できなかった

重 点 課 題	重 点 目 標	自 己 評 価 評価指標と活動計画
学力向上・進路指導の充実	<p>①生徒の進路希望の把握に努める。</p> <p>②充実した進路情報の提供を図る。</p> <p>③教員の教科指導力を高め、I C T等を活用するなど、わかりやすく生徒が興味・関心を持てる授業を実践する。 3年生の進路実現のため、生徒の実態に合わせた科目選択ができる補習授業を実施し、生徒の成績向上に努める。</p> <p>④読書活動の推進をし、本を読む習慣を確立させ、基本的な読み解き力・考える力を育成する。</p> <p>⑤持続可能な社会のあり方に目を向け、一人ひとりが民主社会を形成する主権者であるという意識の向上を図る。</p> <p>⑥消費者被害等の危機を自ら回避できる能力を育成する。 持続可能な社会の実現に向けた消費生活を実践できる能力を育成する。</p>	<p>《評価指標》</p> <p>①面談が参考になった（80）%以上</p> <p>②学校が提供する情報（進路講演会等）が役立っていると感じる生徒（80）%以上</p> <p>③生徒による授業・補習満足度（80）%以上</p> <p>④図書館の年間（4月～翌3月）総貸し出し冊数、（2, 500）冊以上</p> <p>⑤持続可能な社会について考え、実際に行動することができていると感じる生徒（61）%以上</p> <p>⑥(1)「契約トラブルや消費者保護制度について理解できた」と回答した生徒（70）%以上 (2)「持続可能な社会について考え、実際に行動することができた」と回答した生徒（75）%以上</p> <p>-----</p> <p>《活動計画》</p> <p>①(1)担任等による個人面談を年間（4）回以上実施する。 年度当初の面談や夏季休業中の三者面談の他に常日頃から計画的に面談を行い、生徒の進路希望を把握るとともに、その実現に向けての指導を的確に行う。 (2)3年生の進路検討会を（4）回以上実施する。</p> <p>②(1)校内進路講演会・大学学部学科説明会、更にオープンキャンパスや各種説明会への案内、その他生徒の進路に必要な情報を適切に生徒に提供する。 (2)外部講師を招聘し、各学年（1）回以上進路説明会を実施する。 (3)校内進路情報誌『進路』の活用を図る。 (4)就職用模試は1・2年生希望者（2）回以上、3年生希望者（3）回以上実施する。 できるだけ早い時期に生徒の希望を把握し、求人開拓を図るとともに、就職・公務員模試や補習、面接指導を実施する。</p> <p>③各学期に設ける授業参観週間での教員相互間による授業見学や、年間2回の生徒への授業アンケートを実施し、教科指導力の向上を図る。</p> <p>④『図書館情報』『図書館報』の発行や図書委員による広報活動を通じて、読書を奨励する。</p> <p>⑤(1)生徒の主権者意識を高めるための出前講座を実施する。 (2)公民科の授業またはHR活動において主権者教育に関する内容を年（1）回以上取り扱う。</p> <p>⑥(1)自立した消費者になるための意識を高めるための出前講座を実施する。 (2)家庭科、地歴・公民科の授業またはHR活動において消費者教育に関する内容を年（1）回以上取り扱う。</p>
日々の生活指導の充実	<p>①交通事故防止に努める。</p> <p>②校則について、生徒が遵守できている。</p> <p>③いじめ防止に努める。</p>	<p>《評価指標》</p> <p>①年間を通して、事故件数（20）件以内（前年度31件）</p> <p>②校則を遵守できていると回答した生徒（90）%以上</p> <p>③学校生活に関するアンケートを年（2）回以上実施</p> <p>《活動計画》</p> <p>①通学時の交通ルールの遵守を集会等で徹底させ、交通マナーを身につけさせる指導を行う。また生活安全委員が定期的に啓発活動各HRに実施する。</p> <p>②校則の遵守について、全校集会もしくは学年集会等で全体指導を行う。また毎年、生徒会と校則の見直しを行いよりよい校則にしていく。</p> <p>③全校集会での指導やいじめ防止委員会からの働きかけを行い、よりよい人間関係を築かせ、いじめのない学校づくりをする。いじめが起これば認知し、早期に対応し解決をはかる。</p>
特別活動・人権教育の充実	<p>①生徒が充実感・達成感を感じられる学校行事と部活動を開催する。</p> <p>②人権尊重の精神の積極的な啓発に努め、人権意識の高揚を図る。</p>	<p>《評価指標》</p> <p>①(1)生徒による学校行事満足度（80）%以上 (2)生徒による部活動評価の満足度（80）%以上</p> <p>②本校ではお互いの人権を尊重できていると回答した生徒（80）%以上</p> <p>《活動計画》</p> <p>①(1)学校行事について生徒会と意見交換を行い、より良い行事内容になるように努める。 (2)部活動は顧問の専門性を配慮して配置し、日々の指導では、現場における指導を充実させる。</p> <p>②(1)人権ホームルーム活動の活性化を図るために人権委員会の活動の充実を図る。 (2)人権啓発行事（人権展・人権映画会等）を実施し、人権啓発新聞「TOMORROW」を発行する。 (3)ヒューマンライツ部を中心に支援学校との交流を進める。</p>

課題研究（S S H）や探究活動、広報の充実	<p>①スーパーサイエンスハイスクール（S S H）の取組により、生徒の理科や数学への興味・関心を深め、理科や数学の基礎的な学力を定着させるとともに、課題研究・探究活動の推進を図ることで協働的で主体的な学びを推進する。</p> <p>②国際交流に関する取組を進め、多様な価値観を持つ人々と協働することができるグローバル人材の育成を行う。</p> <p>③発表会への積極的参加により本校の課題研究の成果を発表すると共に、小中高実験教室等を実施し、地域における科学技術人材育成に取り組む。</p>	<p><b>《評価指標》</b></p> <p>①(1) S S Hの取組により理科や数学の興味・関心が深まり、その理解が深められたと自己評価する生徒（70）%以上      (2)科学的思考力調査のプレテストからポストテストの伸びについて具体的な操作期（3段階の最低評価）の生徒の割合（50）%減少      (3)普通科2年生について、理科的数学的な見方考え方を生かした探究活動を実施できた生徒の割合（80）%以上</p> <p>②(1) S S Hの取組により、科学英語に興味を高まった生徒（70）%以上、多様な価値観への理解が深まった生徒（70）%以上</p> <p>③(1)各種科学賞等での入選数（7）以上      全国大会への出品（2）以上      (2)実験教室に参加後のアンケートによる満足度（80）%以上</p> <p><b>《活動計画》</b></p> <p>①(1)応用数理科において理科実験を（10回）以上、高大連携授業を（10）回以上実施する。      (2)応用数理科2年生において、年間（3）回の校内発表会を実施すると共に、3年生で論文を作成し、日本学生科学賞に出品する。また、高大連携を活用した課題研究を（3）グループ以上実施する。      (3)普通科1年生「理数探究基礎」において、理科的数学的な見方考え方を生かした探究活動を実施する。      (4)普通科2年生「未来探Q」において、高大連携による探究グループ（12）グループ以上、企業等連携（5）グループ以上実施する。</p> <p>②(1)応用数理科 ScienceEnglish で海外交流高とオンライン発表を（3）回以上実施する。対面での発表や共同実験を（2）回以上実施する。</p> <p>③(1)課題研究の県内発表会に（2）回以上参加、全国発表会に（3）回以上参加する。      (2)小中高実験教室等を（5）以上行う。</p>
安心・安全な環境整備	<p>①生活習慣の指導等の健康教育を推進し、健康及び成長発達への理解を深めるとともに、自主的に健康管理ができる能力の育成を図る。</p> <p>②学校環境衛生と感染症対策に努め、健康を守る環境の構築を図る。</p> <p>③自然災害に対する防災意識の涵養を図る。</p>	<p><b>《評価指標》</b></p> <p>①(1)生活習慣改善チャレンジ週間に十分に取り組めたと自己評価した生徒（70）%以上      (2)心肺蘇生法とアレルギーの職員研修で今後に活かせるとの回答（80）%以上、生徒への心肺蘇生法講習の理解度（80）%以上      (3)講演会等の理解度（80）%以上</p> <p>②学校環境衛生についての巡回と環境整備（毎月1回以上）</p> <p>③避難訓練や避難経路確認等を通して防災に対する関心が高まり、意識が変化したと回答する生徒（70）%以上</p> <p><b>《活動計画》</b></p> <p>①(1)事前アンケートで生活を振り返り、自分に合った目標を立てさせ、毎朝の SHR での呼びかけや Classi での情報発信を行うことで意識付けを図る。      (2)実技やシミュレーション演習を中心に行い、学校全体の緊急時対応能力の向上を図る。      (3)熱中症講演会や生徒保健委員会による保健指導を実施するとともに、年間（12）回以上保健だよりを発行し、健康や生活習慣に関する情報を提供する。</p> <p>②定期的な巡回やサーチュレーター等の設置・使用状況の確認、飲料水の日常検査を行う。</p> <p>③各ホームルームで環境防災委員を中心に、年1回以上の避難経路確認に行く。      年1回、実践的な避難訓練を行い、生徒・教職員とも真剣に取り組む。</p>
開かれた学校づくりの推進	<p>①家庭や地域社会と連携及び協働し、地域や保護者の信頼に応える学校づくりの推進に努める。</p> <p>②松柏会の活動を充実させ、保護者や地域の方々と協力しながら生徒の成長を促す。</p>	<p><b>《評価指標》</b></p> <p>①ホームページへのアクセス数、年間（450, 000）件以上を目標とする。</p> <p>②進路説明会、大学視察、進路講演会・座談会を通して、子どもの進路への理解が深まったと評価した保護者（70）%以上</p> <p><b>《活動計画》</b></p> <p>①(1)ホームページの更新回数、月（10）回以上      (2)学校運営協議会において、地域のニーズと探究活動に関する学校のニーズのマッチングを図り、学習活動の充実につなげるとともに、HPによる情報公開を行う。</p> <p>②進路説明会、大学視察、進路講演会・座談会を実施する。      体育祭バザーや祖父母の会を実施して、交流を深める。</p>
創立150周年記念事業の円滑な実施	<p>①同窓会、後援会、松柏会と協力しながら、創立150周年記念事業を成功させ、伝統を守りつつも、城南らしく新しい学校のあり方を継承していく。</p>	<p><b>《評価指標》</b></p> <p>①150周年事業に対する満足度（80）%以上</p> <p><b>《活動計画》</b></p> <p>①記念式典、記念誌、記念事業・広報のそれぞれの部会で計画を立て、実行委員会で承認されたことを推進しながら、150周年記念事業がより良いものになるよう努める。</p>